

アクティブ座光寺

麻績の里●座光寺便

街角探訪

消防団、壮年団を卒業した座光寺の40代有志が、10年20年先を見据えた地域づくりをめざして、平成25年3月、「アクティブ座光寺」を結成しました。働き盛りの40代は、10～20年後に地域の中核を担う世代です。結成メンバーは一様に、将来のために今から、学び合い語り合い、共に考えていく必要性を感じていました。

昨年4月には春の祭典に出店(でみせ)を出し、祭り会場を大いに盛り上げました。翌5月には東京渋谷で、東日本大震災の復興支援イベントに参加。東急東横線の旧渋谷駅ホームに設けられたステージで、伝統芸能の披露や飯田の特産品販売、観光PRを、自治会、麻績太鼓保存会のみなさんと一緒に行いました。その後は地区的行事に会として参加し、交流を深めました。

アクティブ座光寺が描



定例会の様子



ふるさとパック
春の味覚満載便
2,000円(送料別)



- お申し込み先 座光寺自治振興センター内 麻績の里ふるさと応援俱楽部 (TEL.0265-22-1401・FAX.0265-22-1475)
E-mail:zakouji@city.iida.nagano.jp
- お申し込み締切 平成26年5月9日
- お届け時期 平成26年5月中旬
- ※代金は商品到着後にお支払いください。



座光寺 19地区探訪② 唐沢



蚕玉様の例祭(平成19年・百年祭の折)

座光寺の唐沢集落は、日当たりのよい南向きに開けています。洞沢から流れ出る水に恵まれ、はるか古墳時代から人の居住がありました。交通面では飯田の北の玄関口にあたり、東山道の歴史を偲ぶ古墳も残っています。明治の初めに20戸ほどだった集落は、順次増加し、平成13年には6倍の120戸になりました。現在、戸数は約108戸(組合加入戸数)で、座光寺の中で最も増加率の高い地区です。



平成26年3月 発行

■ 麻績の里ふるさと応援俱楽部(飯田市役所座光寺自治振興センター内) 長野県飯田市座光寺25335 TEL 0265-22-1401

麻績の里●座光寺便 街角探訪

<将来の夢は、魅力ある地域にすること。「座光寺の美しい自然や歴史文化を有效地に活かし、人が集まる地域にするのが目標です。そのために他地区との交流を深め、お互いの地域の活性化につなげていきたい」と言います。

同世代の横のつながりをもっと太くし、それを縦世代間のつながり、そして地域全体のつながりに発展させ、次の世代の子どもたちに「ここに生まれてよかった」と思える座光寺を残していくのがグループの夢です。

結成2年目の今年は、さまざまな独自事業を計画中。40代の柔軟な発想と軽やかなフットワークに期待が高まっています。

「ふるさとパック」は旬の座光寺農産物の詰め合わせ。ふるさとを離れて暮らす方に、自然の香りや懐かしい味をお届けしています。

人探訪



唐沢●1組 熊谷正美さん

大正11年生まれの熊谷正美さんは御年91歳。「唐沢は新しい人がどんどん増えた。昔からの人にはいまでは40軒ほど」というとおり、地域の変貌を誰よりもよく知るお一人です。

久しく農業を営んできた熊谷さん。時代の変化とともに、ご自身も養蚕から酪農へ、そして果樹栽培へと転換してきました。「山の斜面にも、一面桃をつくっていた」当時は、谷あいは桃源郷のようでした。一線は退きましたが、いまも毎日のように畑に出向きます。

お祭りも昔は地区を挙げて賑やかに行われました。蚕玉様のお祭りは、「祭りに行くと子どもたちは煎餅がもらえた。それが楽しみだった」。戊辰の水神様の祭りには「元善光寺の和尚さん(先代)がきて読経した」といいます。

唐沢には変わった地名がいくつかありますが、そのひとつ「馬の血原」という、熊谷さんのお宅裏手の地名を聞いてみました。そこは馬の健康状態をチェックする「健診」が行われた地籍で、「昭和の初めには多くの馬が集まり、蹄を切ったり、体の手入れをしていた」そうです。

④水道

主な井水に「蟹田井」「西ノ沢井」「四反田井」「横井」「唐沢井」があります。かつて堤があった蟹田井の横には水神が祀られています。昭和の時代までは、井ざらいのあと、水神様のお祭りを行っていました。現在は作業のあと役員のみでささやかな祭りごとを続けています。



③井水と水神

主な井水に「蟹田井」「西ノ沢井」「四反田井」「横井」「唐沢井」があります。かつて堤があった蟹田井の横には水神が祀られています。昭和の時代までは、井ざらいのあと、水神様のお祭りを行っていました。現在は作業のあと役員のみでささやかな祭りごとを続けています。

⑤ナギジリ1号古墳

イチゴで各家に分水され、昭和30年ごろまで使われていました。小洞(こぼら)を百メートルほど上った水源地には、昭和水道の貯水池があります。脇の記念碑には「昭和三年二月起工 十二月竣工」と刻まれています。



⑥かつての通学路

JR東海の計画によると、ここにリニア新幹線の非常口が設けられる予定です。十数年後の風景はどうのように変貌しているでしょう。



学路で、宮崎の子どもたちが通っていました。人が避け合えるほどの細い道で、車の心配もありません。

⑦リニアの非常口

田和塾堤は享和2年(1802)、「蟹田四反田新堤」は文政2年(1819)に設けられました。このうち新堤は10ほど前に埋め立てられ、まぼろしの堤となっていました。



座光寺 19地区探訪②

歩けば!が見えてくる 唐沢



①蚕玉様と祭礼

唐沢にはかつて2カ所に堤がありました。「反田和塾堤」は享和2年(1802)、「蟹田四反田新堤」は文政2年(1819)に設けられました。このうち新堤は10ほど前に埋め立てられ、まぼろしの堤となっていました。

